令和２年１２月度理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和２年１１月１６日（月）
２．開 催 日 時　令和２年１２月２日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２２人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１９人（Web 会議システムによる出席１９人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、大屋 和雄、伊藤 雄平、宗村 進之介、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、玉木 寛之、上島　健、平井 英次、安室 篤志

９．出席監事の氏名

川崎 一郎、川村 道夫

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　東京工業大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、先日実施したアンケート調査結果（回答率２５．９％）について資料に基づき報告があった。オンラインでの座学の受講については、１６社／２１社（７６．２％）、実習については、１１社／２１社（５２．４％）が「問題なし」の回答だったこと。受講希望については、１３社（１５～１８名）の回答があったが、そのうち対面受講を希望している企業があり、オンライン受講になった場合に不参加（３社、３～４名）の申し出があることの説明があった。

嶋崎議長から、東京工業大学の竹山教授と話をした際に組合としては重要な講座となっているので、継続して行きたいことを伝えたことと大学からは最低１６名受講者を集めて欲しいと言われていることの説明があった。

大学では、在校生がオンライン講義を受講していることとオンライン講義でも板書で行われる先生やパワーポイントなどで資料を利用して行われる先生がいることの説明があ

り、アンケートの結果も踏まえて東京工業大学にはオンラインと対面を含めたハイブリット型での開催の要望を申し入れしたい旨述べられた。

また東京工業大学での実習については、オンラインと対面で半数ずつのグループ分けの要望をいただいていることの報告があり、オンラインと対面との差が出てしまう可能性もあるが、開催することを大前提に考え、大学側と綿密に話し合いをしながら進めて行きたいと述べられた。

田村理事から１月に受講申込が開始される時には、「オンライン受講」になるのか、「対面受講」になるのかが確定されているのかと質問があり、嶋崎議長から東京工業大学に組合の要望を伝えるが、コロナウイルス感染症の件もあり、現時点で確約はできないと説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、竹内副理事長から、資料に基づき、令和２年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

嶋崎議長から、コロナウイルス感染症の影響で講習会等が開催できていないが、剰余金が発生している。これについては、試験的に行っているオンライン講習会に必要な機材等を揃えるなどの費用に充当して行きたい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　オンライン講習会について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から資料に基づき、１１月２日に技術・品質及び青年部会の協力を得て駐健保会館で実施したオンライン（ZOOM）のテスト講習会について概ね高評価だったことの報告があった。ZOOMの画面共有機能を使用した講師資料の配信やホワイトボードを使用した板書の配信については問題なかったが、講習会で使用している教材（DVD）の配信については止まってしまうなど不具合が起こり、今後の課題となったことと集合型とオンライン型を組み合わせたハイブリット型の講習会についてレイアウト案や必要機材（ビデオカメラ、ビデオミキサー、パソコン等）も含めて説明があった。

嶋崎議長から、コロナの影響もあり、今後オンライン講習会を構築しなければならないこと。また今後一般的になって行くことと遠方からの参加については有益な方法ではないかとの説明があった。講師の育成も含めて構築して行きたい旨述べられた。

上島理事から、オンライン配信について配信側のインターネット環境が重要だと思うので、ポケットWi-Fiではなく、有線LANを使用できる会場を検討した方が良いのではないかとの意見があった。嶋崎議長から、受け手側のインターネット環境の影響も考えられるので、もっと情報をリサーチし、費用対効果を考えながら検討したい旨述べられた。

嶋崎議長から、テスト講習会で講師を行った横山理事（技術委員長）と藤田理事（品質委員長）に意見が求められ、横山理事からは、映像の配信が難しい場合は使用しないことも検討することと講師の資料作りについて工夫が必要になるとの意見があった。藤田理事からは、映像の課題については先日の技術・品質合同委員会でYouTube活用などアドバイスをいただいたので、早急にテストを実施して来年４月の「初級熱処理塾」には間に合うようにして行きたいと意見があった。

嶋崎議長から、教材（DVD）の見直しについても検討したいことが述べられた。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１０月２６日にオンライン（Microsoft Teams）で行われた第２回青年部会について、議事録に基づき説明があった。今回は、関東経済産業局製造産業課から猪俣課長、金屋係長、齋藤課員の参加があったことも報告があった。

主な内容としては、①関東経済産業局製造産業課による施策概要について（ア．概算要求のポイント、イ．税制改正要望のポイント、ウ．施策状況の入手・相談・申請支援）、②オンライン講習会について、③東京都中小企業団体中央会「組合まつり」について、④最近の状況を含めた市場動向について。

田村理事（部会長）から、予定をしていた青年部会の講習会も中止となり、技術・技能の伝承は必要不可欠なことから教育に力を入れるためにもオンライン講習会の構築について協力をして行きたい旨述べられた。

嶋崎議長から、次世代の業界のための原動力となっていただきたい旨述べられた。関東経済産業局にも取組について評価いただいているので、引き続き活動をお願いしたい旨述べられた。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１０月２０日に実施された令和２年度第３回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。オブザーバーとして関東経済産業局中小企業課の山中総括係長に参加いただいたことの報告があった。主な内容としては、①コロナに関する各地域の保健所の対応について、②エリア分け及びエリアリーダーについて、③マニュアルの校正について、④今後の活動に向けての取り組みについて、⑤関東経済産業局を通じて中小企業基盤整備機構からの事例紹介の依頼について。

玉木理事（リーダー）から、エリアリーダーについては、初め WG のメンバー、各委員会活動に参加されている企業を中心にお願いし、BCP の普及も含めて他の組合員企業に拡げて行きたいこととマニュアルの初動対応のフローチャートから BCP 発動の意志決定方法について説明があった。BCP の普及活動については、BCP の内容が分かるチラシの作成を検討していることと事例紹介については、マニュアルなどの資料で対応したい旨述べられた。

嶋崎議長から、前へ進みながら構築し、将来的には中部及び西部の組合にも波及して行きたい旨述べられた。

曽根副理事長から、ひな形は出来上がって来ているので、今後エリアリーダーの協力や承認についての協力要請があった。

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１１月４日に Web 開催された令和２年度第３回総務委員会について、議事録に基づき説明があった。主な内容としては、オブザーバーとして、HP 管理会社の伊東社長と一般社団法人日本金属熱処理工業会石原専務理事に参加をいただいたこと。①組合 HP について（バナー広告６社の掲載位置の変更について）、②一般社団法人日本金属熱処理工業会の総務委員会について（外国人実習制度の進捗状況について、電力多消費産業の窮状について、金属熱処理あんしん保険について）、③オンライン（Web）を活用した会議及び教育について。

原田副理事長から、①電力多消費産業の窮状について国会議員に陳情に行く際に熱処理業界の説明文が東日本大震災当時のままになっており、更新がされていないので、各組合

で現況について情報提供をお願いしたいこと。②金属熱処理あんしん保険については、今後保険金の支払いが増加するとオプション補償の追加や割増制度の導入など算定基準の見直しが予定されていることについて補足説明があった。

安室事務局長より、１１月２０日に Web で開催したマーケティング委員会について報告があった。主な内容としては、①コロナ禍での営業活動について、②今後の価格サポートセミナーについて③「自主行動計画フォローアップ調査」について、④金属熱処理加工の価格及び使用設備調査結果について、⑤市場動向に関する情報交換について。

南副理事長から、オンラインを活用した会議や展示会など新しい取り組みが増えてきているので、それに対応できるようにすることが必要と述べられ、自身もアリババ（Alibaba）の海外展示会に登録するなどの行動を起こしたことの報告があった。

安室事務局長から、１１月２７日 Web 開催の技術・品質合同委員会について報告があった。主な内容としては、①オンライン（Web）テスト講習会について（映像配信の課題について）、②第５回品質活動発表会について（オンラインでの録画配信による開催について、YouTube の活用について）、③来年度活動計画について（集合型とオンライン型を合わせたハイブリット型について）、④BCP 推進 WG 活動報告について、⑤その他報告事項（東京工業大学製造中核人材育成講座について、外国人実習制度の資料提供について）。

曽根副理事長から、永年講師としてご協力いただいていた鶴見氏（㈱上島熱処理工業所）から健康上の理由から講師辞退の申し出があり、今後新たに講師の方を探す必要があり、協力依頼があった。

秋山理事から、来年４月の「初級熱処理塾」の開催に向けて、品質活動発表会のオンライン開催などのステップを踏んで準備を進めて行きたい旨述べられた。

嶋崎議長から、鶴見氏の件については、自前で講師を育成して行く必要があると述べられた。

藤田理事から、第５回品質活動発表会については、発表企業のプレゼンテーションを録画したものをオンラインで配信し、質疑応答については当日ライブで実施するという構想でいることの説明があった。

嶋崎議長から、オンライン配信に必要な機材については、予算を付けて揃えたい旨述べられた。また次回の理事会に録画したプレゼンテーションを視聴できないかとの要望があり、藤田理事から、テストで撮影したものを視聴できればと考えていることの説明があった。

安室事務局長から、必要機材については、ビデオカメラやビデオミキサー等で３０数万円かかる見込みであることの報告があり、嶋崎議長から、将来的に必要なものであれば、正副理事長で検討した上で、購入したいとの意見があった。

田村理事から、機材の購入については、レンタルでテストしてから検討したらどうかとの意見があり、先日のテスト講習会のアンケートでカメラの長時間使用による耐久性の問題を指摘する声があったことについて報告があった。

安室事務局長から、カメラについては２台の購入を見込んでいることの説明があった。

嶋崎議長から、見積書を取る必要があることと役員に提示することについて述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、東京都中小企業団体中央会の創立６５周年記念として嶋崎理事長が東京都知事感謝状を受賞したことの報告があった。

続いて資料に基づき、今年９月から１１月までの組合員・賛助会員の異動と関係官庁（関東経済産業局長及び東京都産業労働局商工部経営支援課）の人事異動について報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和２年１２月２日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　 直樹　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　 毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

出席理事　　玉木 寛之　　㊞

〃　　上島　健　　㊞

〃　　平井 英次　　㊞

〃　　安室 篤志　　㊞

出席監事　　川崎 一郎　　㊞

〃　　川村 道夫　　㊞